

平成23年度

国際標準化活動報告

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMLA)
・ISO事務機械国内委員会

1 ISO 事務機械国内委員会

1-1 活動概況

(1) 総会および運営委員会

総会 1 回（平成23年5月）、運営委員会 4 回（平成23年4月、5月、9月、12月）を実施した。

(2) 国際標準化活動

国際標準化活動において積極的に国際貢献を果たした。

1) 国際会議委員派遣

57の国際会議に、延べ211名の委員を派遣した（平成22年度は56の国際会議に、延べ242名）。

2) 国際規格投票

以下の国際規格投票に対し回答原案を作成し、またISが発行となった。（ ）内は平成22年度

SC	NP	CD /PDAM /PDTR:	FCD /FPDAM	DIS /DAM /DTR	FDIS /FDAM	Project 合計	Systematic Review (定期見直し)	IS発行 /TR発行
SC17	4 (6)	13 (13)	9 (15)	0 (0)	15 (11)	41 (45)	8 (7)	9 (10)
SC28	3 (0)	0 (5)	1 (3)	6 (0)	2 (2)	12 (10)	1 (1)	3 (1)
SC35	7 (10)	9 (4)	2 (2)	2 (0)	1 (1)	21 (17)	0 (5)	2 (2)
合計	14 (16)	22 (22)	12 (20)	8 (0)	18 (14)	74 (72)	9 (13)	14 (13)

(3) 予算・決算

平成22年度決算、平成23年度予算の承認および平成24年度予算案の作成を行った。

(4) 各SCの活動

1) SC17

第 24 回 SC17 総会はソンド（韓国、仁川広域市）で開催され、わが国からは 8 名が出席した。同総会では、日本から追加議題として提案し議事案に組み込まれた、(1) 複数 WG にまたがる NWI（新規作業項目）への対応、(2) 複数の国際標準間での内容移行、について十分な時間をかけて課題の共通認識を図ったうえで合意を形成する等、SC17 全体としてのマネジメントの効率化にも貢献した。

WG 1（ID カードの物理的特性及び試験方法）では、ISO/IEC 24789-2（カードサービスライフ第 2 部：評価方法）に国内の評価試験結果に基づく修正を反映させるためコエディタを日本から出すことで合意した。

WG4（IC カード）では、多くの分野で利用されている ISO/IEC 7816-4（IC カードー第 4 部：交換のための構成、セキュリティ及びコマンド）の改正を進めており、日本から問題提起した後方互換性確保の課題を解決して DIS 投票に進めることができた。これに伴い ISO/IEC 7816 シリーズの他の各部の改正審議を開始することとなり、エディタ及びコエディタを日本から出すことで合意した。更に日本提案の ETA（Enhanced Terminal Accessibility）は 2008 年 10 月に NWI として承認されたのち ISO/IEC 12905 として標準化を順調に進め（経済産業省平成 23 年度国際標準開発事業

として推進)、2011年7月にISとして発行された。

カード上にディスプレイを追加するNWIは、複数WGに関係する内容を含むとともに国際間の意見調整が難しく審議が難航しているが、物理的側面と論理的側面に分けた検討が行われる方向である。論理的側面については審議の方向性をリードすべく、日本から仮想的なアーキテクチャの提案を行うことで貢献している。

WG8(非接触ICカード)では実験データに基づく提案等によって複数のアンテナサイズ、電磁雑音レベル、超高速伝送等の追加規格を含むISO/IEC 14443(近接型非接触ICカード)シリーズの改正に貢献している。

2) SC28

SC28(事務機械)は日本が国際幹事国業務、議長国を引き受け、積極的に活動を行っている。現在WGは5つ(戦略検討、消耗品、生産性、画質評価、オフィスカラー)あり、日本はいずれのWGにも参加している。

6月、ISO/IEC JTC1/SC28 第22回総会が中国浙江省杭州市浙江大学(Zhejiang University)にて開催された。6ヶ国32名のメンバーが参加した。本総会では、争点となる大きな問題も無く、おおむね順調に議事が進行した。一昨年就任した国際幹事と、同じく一昨年再任の国際議長との連携も良く総会はスムーズに運営された。

本年SC28から3件の国際標準が発行された。ISO/IEC 29103(フォトイールド・テストチャート)、ISO/IEC 29102(フォトイールド測定法)、ISO/IEC 28360: 2012(Ed. 2)(電子機器からの化学物質放散速度測定方法)。

事務機械の技術・市場の成熟化に伴い、事務機械の標準への要請が変化している。SC28はこれに対応していく必要がある。

3) SC35

国際SC 35では、7つのWGにおいて規格化活動が行われている。幹事国/議長国はフランスが務め、日本は2つのWGのコンビナー(WG 2、WG 4)を務めている。

国内では、WG 5及びWG 8を除くWGの審議はJBMIA、SC 35(WG 5及びWG 8含む)の案件審議は情報処理学会という形式で審議を行っているが、実質的な審議はJBMIA内でWGとの合同委員会において行っている。

本年度は、日本提案のISO/IEC 11581-40(User interface icons -- Part 40: Management of icon registration)1件と、ISO/IEC 9995-3(Keyboard layouts for text and office systems -- Part 3)及び、ISO/IEC TR11581-10(User interface icons - Part 10: Framework and general guidance)の3件が出版された。

国内委員会のSC 35専門委員会及びWG合同会議は、12回実施し21件の投票を行った。

国際会議は、特に日本提案の4件(①アクセシビリティに関する規格、②4方向キーに関する規格、③音声コマンドー1に関する規格、④音声コマンドー4に関する規格)の審議の為、本年度は京都会議を開催し無事終了した。

平成23年8月29日～9月2日 ポーランド ワルシャワ市

平成24年2月20日～24日 日本 京都市

(5) JIS化作業

次のJIS原案作成活動を行った。

- ・ JIS X 6302-6 識別カード—記録技術—第 6 部:磁気ストライプ—高保磁力 (ISO/IEC 7811-6:2008 IDT) :改正 (2011.6)
- ・ JIS B 9527:2004 ページプリンタの仕様書様式の改正に関しては ISO/IEC 11160-2 (現在 CD 投票中) の制定を待つこととし、延期した
- ・ JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式の改正は ISO/IEC 21118 (現在 DIS 投票中) の制定後に着手することになった
- ・ JIS X 6940 プリンタ及び複合機の生産性測定方法 (ISO/IEC 24734 IDT):制定 (H23.6)
- ・ JIS X 6939 複写生産性測定方法 (ISO/IEC 24735 IDT):制定 (H23.8)
- ・ JIS X 6934 JIS X 6939 の制定に伴い旧規格となったため廃止申請をした:廃止 (H23.8)
- ・ JIS X 8341-7 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第 7 部:アクセシビリティ設定 (ISO/IEC 24786:2009 対応) の制定 (H23.8)
- ・ JIS X 6302-9 識別カード—記録技術—第 9 部:触ってカードを区別するための凸記号 (ISO/IEC 7811-9 IDT):制定 (H24.3)

(6) 表彰

表彰規定により20名を表彰した。

1-2 今後の主要課題

ISO事務機械国内委員会はその主たる目的、即ち事務機械の国際標準化に引き続き尽くす。

(1) 国際標準活動業務の推進

- (1-1) JTC 1/SC 28 幹事国業務 (国際議長、国際幹事)
- (1-2) 国際規格投票に対する回答原案の作成及び国際投票
- (1-3) プロジェクト・エディタの積極的引き受け等による日本の貢献強化
- (1-4) コンビナ、セクレタリの活動支援

(2) 日本提案の積極的支援

(2-1) 事業への応募

経済産業省平成23年度国際標準開発事業の受託

カード耐久性評価基準に関する標準化 (SC17、継続)

(2-2) プロジェクト・エディタ等の引き受け継続と拡大

- ① ISO/IEC 7816-11
- ② ISO/IEC 11160-2
- ③ ISO/IEC 24790
- ④ ISO/IEC TR 29186
- ⑤ Management of voice command registration Part 1
- ⑥ Management of voice command registration Part 4
- ⑦ AWI 17549 Ladder menus with 4-direction device

(2-3) 新規規格日本提案の推進

(3) 国際会議への積極的な参加

(3-1) 国際会議への参加

- ・ SC17総会&WG会合： 2012年 9月末～10月 ニューオーリンズ (米国)
- ・ SC28総会&WG会合： 2012年6月 ロンドン (英国)
- ・ SC35総会&WG会合： 2012年8月 パリ (フランス)
- ・ SC35総会&WG会合： 2013年2月 プサン (韓国)

(3-2) 国際会議の開催

- ・ SC 17/WG 4東京会議開催 (2012年6月)

(4) JIS原案作成及びJIS原案作成支援

- ・ JIS B 9527 ページプリンタの仕様書様式の改正をISO/IEC 11160-2の制定後に着手する
- ・ JIS X 6911 データプロジェクタの仕様書様式の改正をISO/IEC 21118ISO/IEC 21118の制定後に着手する

(5) 補助金の活用

適正な補助金の運用に務め、次年度の JKA 等の補助金に応募する。